



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和6年5月7日 NO. 2

042-541-2940

創立45年目（昭和55年開校）

本当の力をつけよう



校長 前川 法彦

私達は、よく「自信がある」とか、「自信をもって」という言葉を使いますが、「自信」について、改めて考えてみることにしました。「自信がない」というと、良くないことのように聞こえますが、実は、「自信がない」ことにも価値があるのです。

「自信がない」とき、人は不安になります。そして、不安になると心配したり、緊張したりして、自分自身の身を守るために行動を抑えようとします。しかし、そのような気持ちも、悪い方向に向かわないようにする「予防」という立派な役割があるのです。また、「自信がない」ということは、自分の弱点に気付いているということなのです。そのため、自分を向上させるべき点を、克服することによって思った以上の実力を発揮できるのです。つまり、何か自信をもってやり遂げようとするのに欠かせないのは、弱点を克服する努力なのです。「努力」は、「準備」と考えることもできます。例えば、テストでいい成績を取りたいときには、普段の授業から集中して取り組み、予習や復習などしながら当日に備えます。試合に勝ちたいというときも熱心に練習に打ち込みます。こうした努力の積み重ねによって、本当の力が付き、揺るぎない自信が湧いてくるのではないのでしょうか。

中学校生活の中で、自信がないことが出てくると思いますが、そこで立ち止まるのではなく、その自信のなさが、どこにあるのかの原因を探り、粘り強く努力できる生徒になって欲しいと願っています。また、一人で乗り越えることが困難な場合もあるでしょう。そのようなとき、周りを見渡せば志を同じくする仲間がいたり、応援をして支えてくれたりする人が必ずいます。本当の実力をつけ、大きな自信につなげて学校生活を送りましょう。



5月2日（木）に、引き渡し訓練を実施いたしました。ご多用の中、保護者の皆様におかれましてはご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。また、5月25日（土）に体育祭を実施いたします。クラスでの話し合い、係会や実行委員会、リーダーシップだけでなく協力や支え合いなど学びながら、積極的に活動してほしいと考えております。ドキドキ、緊張しながらも前向きに取り組み、クラスや学年の仲間と喜んだり、悔しい思いをしながら、精一杯やりきったときの達成感や成就感を味わうとともに、「自分の中でどれだけ頑張れたか」かを大切にしてほしいと思います。保護者の皆様には、ぜひ生徒たちの活躍する姿をご覧になっていただければありがたいです。